

NHKスペシャル

全力応援!  
SOCHI ソチオリンピック

## シリーズ “金メダルへの挑戦”

総合テレビ 1月26日(日)・2月1日(土)・2日(日) 午後9:00～9:49 放送〈全3回〉

多くの日本選手の活躍が期待されるソチオリンピック。その中でも特にメダルへの期待が高まる選手に完全密着し、世界最高峰の闘いに向けて極限まで挑戦する姿を追う3回シリーズ。

## 最後の闘い ～女子フィギュア 浅田真央～(仮) … 1月26日(日)放送



フィギュアスケート女子の浅田真央(23)。「ソチ五輪で最高の演技を」と、18年に及ぶスケート人生の集大成にしたいと決意を明かした。

バンクーバー五輪では銀メダル。悲願の金メダルに向け、最大のカギとなるのが、彼女にしかできない“トリプルアクセル”。身体の成長でフォームのバランスが崩れ、成功率は年々下がり、他の演技にもよくない影響を及ぼしていた。そこで目指したのが、スピードに乗って流れるように跳ぶ“新しいトリプルアクセル”だ。前回五輪後、佐藤信夫コーチと基礎スケーティングを繰り返した。助走スピードを上げ、身体の軸がぶれないよう肉体改造にも取り組んだ。

番組はラストシーズンの闘いに密着。さまざまな知られざるエピソードとともに、ハイスピードカメラでの撮影映像も使って“進化の過程”をたどり分析していく。浅田が金メダルを賭けて挑む、“究極のジャンプ”の全貌に迫る。

## 沙羅とサラ ～ジャンプ初代女王をかけた闘い～(仮) … 2月1日(土)放送

沙羅とサラ。ふたりの“サラ”が、新種目、ジャンプ女子「初代女王」を賭けて対決する。

日本の17歳、高梨沙羅。アスリートとして成長を続け、男子顔負けのジャンプで遠くへ飛ぶ能力は世界一だ。対するアメリカの19歳、サラ・ヘンドリックソンは、完成されたジャンパー。「初代女王」を決する戦いは“飛距離の沙羅 vs. 総合力のサラ”、10代の2人による激しい空中戦となる。ジャンプ競技は、「飛距離」と「飛型」のポイントの合計で争われる。遠くへ飛ぶ能力に秀でた高梨だが、ヘンドリックソンが飛型で対抗。去年の世界選手権では、飛型だけでなく飛距離でも高梨を上回り、高梨は、課題の着地だけでなく、さらなる飛距離アップを迫られることになった。



番組ではシーズン前から高梨選手を密着取材。ふたりの“サラ”は、課題をどう克服し、五輪本番に臨むのか。「初代女王」を賭けた熾烈な戦いを追う。

## 世界最高得点をめぐる闘い ～男子フィギュア 金メダルへの戦略～(仮) … 2月2日(日)放送



高橋大輔(27)、羽生結弦(19)。日本の金メダルが期待されるフィギュアスケート男子は、史上最高得点での闘いになるとみられている。ルール変更で最高難度「4回転ジャンプ」の得点が上がったのに加えて失敗時の減点が緩和され、ショート、フリーで計3回跳ぶ選手が急増したためだ。3年前、カナダのパトリック・チャンが当時の世界最高の280点をマーク。これは、前回のバンクーバー五輪の金メダルより20点以上高い。ジャンプ、スケーティング…「技術」と「表現力」の総合で競うフィギュア。各選手は「金メダルには280点超えが必要」と意識する。

「表現力」で圧倒する高橋、「ジャンプ」の得意な羽生。2012年のグランプリファイナルで1、2位を独占した2人だが、昨シーズンまでの最高得点は、高橋が276点、羽生が264点。五輪シーズンに入り、チャンがさらに高得点を出す中、高橋、羽生はどのような戦略で五輪本番を闘うのか。シーズン前から始まっていた、金メダルをかけた世界最高得点を目指す闘いを見つめる。